

■ 掲示板

■ スプリング・サイエンスキャンプ2007 参加者募集

先進的な研究施設や実験装置等を有する日本各地の大学・公的研究機関・民間企業（25会場）で春休みの3日間高校生等を受け入れ、ライフサイエンス、情報通信、環境、ナノテクノロジー・材料、エネルギー、製造技術、(宇宙・海洋等の) フロンティア、地球科学、社会基盤等の分野において、第一線で活躍する研究者・技術者等から直接講義や実習指導が受けられる科学技術体験合宿プログラム。募集要項は WEB サイトから入手可能。

開催日：2007年3月21日～2007年3月29日の春休み期間中の2泊3日

参加費：10,000円

応募締め切り：2月13日(火)必着

主催：独立行政法人 科学技術振興機構

事務局：サイエンスキャンプ事務局（財団法人 日本科学技術振興財団内）

TEL：03-3212-2454 FAX：03-3212-0014

URL：http://ppd.jsf.or.jp/camp/

■ 分子科学研究所 助手公募

人数及び研究分野：(1)分子構造研究系 分子動力学研究部門 助手 1名 (2)表面科学的手法による新規磁性薄膜の創製、あるいは放射光やレーザーを用いた分光学的磁性評価法の開発に意欲のある若手実験研究者。なお、本公募の助手は、当該研究部門の横山利彦教授と協力して研究を行う。

資格：修士課程修了者又はこれと同等以上の学力を有する者。

任期：6年を目途に転出を推奨する。

(詳細は <http://www.ims.ac.jp/> を参照)

公募締切：平成19年3月10日(土) (当日消印有効)

就任時期：できる限り早期を希望する。

提出書類：①推薦書（他薦の場合のみ）、②履歴書、③研究業績の概要（2,000字以内）、④業績リスト（論文題目、全著者名（原論文の印刷順で記入）、雑誌名、巻数、ページ（始めと終わりのページ）、発行年を記入すること。審査のある原著論文と総説・紀要・著書などは分けて記入すること。印刷中及び投稿済論文も含む。）、⑤主要論文5編以内の論文別刷又はプレプリント 各2部 ※原則として、提出書類の返却はいたしません。

選考方法：分子科学研究所運営会議人事選考部会の審議を経たうえで決定する。ただし、適任者がない場合は、決定を保留することがある。

送付先：〒444-8585 愛知県岡崎市明大寺町字西郷中38番地 大学共同利用機関法人自然科学研究機構 岡崎統合事務センター 総務部総務課 人事係（「分子動力学研究部門助手 公募書類在中」と朱書きして、簡易書留で送付すること。）

問合せ先：大学共同利用機関法人自然科学研究機構 岡崎統合事務センター 総務部総務課 人事係 電話：0564-55-7113（給与等の待遇を含む）

その他：分子科学研究所では、平成19年4月に研究組織及び職名の変更を予定しています。

■ 公益信託山村富美記念女性自然科学者研究助成基金 助成公募（平成19年度）

下記の助成を行うことになりました。希望者は申請書を事務局にお送り下さい。

対象：わが国の大学、国公立又は非営利事業財団等の研究機関において、自然科学（化学及びそれに関連ある物理学・生物学）の基礎研究に従事する若手女性研究者（国籍を問わない）。

助成の種類：山村フェロー：博士号を取得している若手女性研究員（2百万円）数名。2年間助成。

申込締切日：2007年3月31日(土)

申請書：中央三井信託銀行のホームページからダウンロードしてください。

http://www.chuomitsui.co.jp/koueki/k_topm.html

申込・問合せ先：〒105-8574 東京都港区芝 3-33-1

中央三井信託銀行本店法人営業第二部公益信託課内山村基金事務局

TEL 03-5232-8911 FAX 03-5232-8919

■ 第7回（平成19年度）財団法人材料科学技術振興財団 山崎貞一賞 候補者募集

授賞対象分野：(1)「材料」(2)「半導体及び半導体装置」(3)「計測評価」(4)「バイオサイエンス・バイオテクノロジー」

授賞対象者：詳細は下記請求先へお問い合わせ下さるか、ホームページをご覧ください。

(1) 授賞対象は、論文の発表、特許の取得、方法・技術の開発等を通じて、実用化につながる優れた創造的業績を上げている人（複数人も可）とします。

(2) 受賞候補者の国籍は問わず、日本国内において業績をあげた人を授賞対象とします。

(3) 過去に応募されたことのある人でも再応募可能です。

顕彰：各分野それぞれに賞状及び副賞（18金メダル・賞金300万円）を贈呈します。

募集期間：平成19年2月1日から4月末日（必着）

推薦書請求先、提出先：

〒157-0067 東京都世田谷区喜多見 1-18-6

財団法人 材料科学技術振興財団 山崎貞一賞事務局

TEL：03-3415-2200 E-mail：prize@mst.or.jp

FAX：03-3415-5987 URL：http://www.mst.or.jp/prize/

■ 公益信託林女性自然科学者研究助成基金 助成公募（平成19年度）

下記の助成を行うことになりました。希望者は申請書を事務局にお送り下さい。

対象：わが国の大学、国公立又は非営利事業財団等の研究機関において、自然科学（化学及びそれに関連ある物理学・生物学）の基礎研究に従事する若手女性研究者（国籍を問わない）。

助成内容：①研究助成：10数件、総額約2千万円。②林フェロー：博士号を目指す若手研究者（1百万円）数名。2年間助成。

③国際研究交流助成（国際研究集会での研究発表、海外での共同研究のための渡航）年10件程度、総額150万円。

申込締切日：2007年3月31日（土）③は事務局に問い合わせのこと

こと

申請書：中央三井信託銀行のホームページからダウンロードしてください。

http://www.chuomitsui.co.jp/koueki/k_topm.html

申込・問合せ先：〒105-8574 東京都港区芝 3-33-1

中央三井信託銀行本店法人営業第二部公益信託課内林基金事務局

TLE 03-5232-8911 FAX 03-5232-8919

■会告

■日本放射光学会第72回評議員会議事録

日時：2006年11月4日（土） 14：00～16：30

場所：理研東京連絡事務所 会議室

出席者：雨宮慶幸，上野信雄，大熊春夫，太田俊明，尾嶋正治，木村真一（行事幹事），佐藤 繁，繁政英治，辛 埴，下村 理（会長），鈴木芳生，田中 均，野田幸男（議長），藤森 淳，間瀬一彦，水木純一郎，宮原恒昱，村上洋一 各評議員
高田昌樹（庶務幹事），中川敦史（会計幹事）

事務局：佐藤亜己奈，西野三和子（WORDS）

欠席者：石川哲也，宇理須恒雄，大隅一政，大柳宏之，小杉信博，古宮 聰，桜井健次，寿栄松宏仁，菅滋正，関一彦，難波孝夫，浜谷 望，澤 博（渉外幹事）

オブザーバー（次年度幹事）：櫻井吉晴，百生 敦，山本雅貴

〈審議事項〉

1. 新入会員の承認

高田庶務幹事より会員異動について、第71回評議員会以降の入退会者に関する報告があり、審議の結果承認された。入会：正会員71名（うち学生会員36名）、退会：正会員6名（うち学生会員0名）。総会員数は1372名（内 学生会員227名）、賛助会員50社54口となった。

2. 放射光学会年度変更に伴う移行措置について

下村会長より学会年度の変更（第71回評議員会で承認済）に伴う移行措置について説明があり、審議の結果承認された。なお、この件については総会の審議事項となるので、総会の前に会員に周知することとした。

3. 放射光学会年度変更に伴う定款・細則の変更について

下村会長より年度変更に伴う定款・細則の変更案が提出され、審議の結果承認された。新定款は、2007年1月12日改定、（2007年10月1日施行）とすることを確認した。なお、この件については総会の審議事項となるので、総会の前に会員に周知することとした。

4. 第11回学会奨励賞について

下村学術賞等選考委員長より学術賞等選考委員会で選考の結果、下記の3名を第11回学会奨励賞の受賞者として推薦する旨の報告があり、審議の結果承認された。

岡 俊彦（慶應大）

時分割 X 線回折法による紫膜の光反応過程の研究

野末佳伸（住友化学）

マイクロビーム X 線小角散乱を用いた高分子材料の構造研究

宮島 司（KEK）

非線形共鳴近傍における位相空間中でのベータートロン振動の研究

5. 会費の見直しについて

下村会長より、学会会計の推移と試算に関する資料が提出された。学会財政は支出節減の努力にもかかわらず、構造的赤字に陥りつつあるので、学会財政の健全化を図るために、正会員の会費を現状の6000円から8000円に上げることが提案された。この提案に対し、概ね賛成が得られたが、説明資料がやや不十分であるとの指摘を受け、改めて資料を送付してメール審議することとした。なお、この件については総会の審議事項となるので総会の前に会員に周知することとした。

6. Asian/Oceania Forum for Synchrotron Radiation Research について

高田庶務幹事（澤渉外幹事代理）よりアジア・オセアニア放射光フォーラム（AOFSTR）第一回ワークショップの開催準備状況および参加者状況について、報告があった。下村会長より、今後の AOFSTR 組織を確立していくために日本がイニシアティブを取って参加国間の調整を図っていく方向で進めていきたい旨の提案があり、承認された。

7. 特別委員会報告

雨宮委員長より「先端的リング型光源計画特別委員会」の報告書（最終）が提出されたが、審議未了のために、メール審議することとした。なお、この件については会員のパブリックコメントを求めることとした。

8. 協賛、共催、後援などについて

澤渉外幹事（代理：高田庶務幹事）より本学会に対する協賛、共催、後援依頼について報告があり、審議の結果承認された。

〈報告事項〉

9. 名簿の電子化について

澤渉外幹事（代理：高田庶務幹事）より Web 名簿について、順調に稼働している旨の報告があった。また、会員より、セキュリティ能力を高めるために SSL サーバーの導入を検討してほしいという要望があった。

10. 第20回年会・合同シンポ準備状況, 第3回若手ワークショップ報告

木村行事幹事より, 2007年1月12日(金)~14日(日), 広島国際会議場で開催する第20回年会・合同シンポの準備状況に関する報告があった。今回は, 市民講座に続けて特別講演を設定したこと, 初日からオーラルセッションがあることなどが説明された。特別講演, 市民講座, 特別企画, 企画1~8について説明があった。また, 予算案が提出され, 実行委員会の工夫により会場費を節減し, 収支がバランスすることになったことが報告された。

2006年8月7日~8日に開かれた第3回若手ワークショップの開催および収支について報告があった。

11. 編集委員会報告

横山編集幹事より, 会誌発行の進捗状況, 光学系シリーズ(単行本)の発行計画について, 報告があった。

12. 予算収支中間報告

中川会計幹事より学会会計の予算執行状況について報告があった。

13. 広告掲載状況

高田庶務幹事より会誌への広告収入の減少傾向について報告があり, 評議員の広告獲得への協力が要請された。

14. その他

学会の中に分科会や常任部会を設けることが学会活動の充実につながるのではないかとこの意見があり, 次期執行部で検討することとした。

15. 次回評議員会日程の確認

第73回評議員会 2007年1月12日(金)12:30~13:30
場所: 広島国際会議場会議室

■会員異動

第72回評議員会(2006年11月4日)で承認

《正会員入会》

- 鈴木 雅雄 放射線医学総合研究所 重粒子医科学センター
- 筒井 智嗣 高輝度光科学研究センター
- 大塚 英幸 九州大学 先端物質化学研究所
- 吉田美美子 理化学研究所 播磨研究所 高田構造科学研究室
- 桐村 知行 理化学研究所 播磨研究所 放射光科学総合研究センター X線干渉光学研究室
- 竹本 真唯 愛媛大学
- 塙坂 真 豊田工業大学
- 福田 勝利 物質・材料研究機構
- 安原隆太郎 東京大学 大学院 工学系研究科 応用化学専攻
- 藤田 斉彦 横浜国立大学
- 宮嶋 良治 理化学研究所
- 江 宗乙 分子科学研究所 反応動力学研究
- 八方 直久 広島市立大学
- 沖 恵 広島大学 理学研究科 物理科学専攻
- 山下 良之 東京大学 物性研究所
- 本田 充紀 日本原子力研究開発機構
- 小田 泰史 名古屋大学 工
- 田沼 良平 富士電機アドバンステクノロジー㈱
- 吉田 圭佑 兵庫県立大学

- 宮本 祥太 広島大学 理学部 物理科学科
- 正岡 聖 ㈱光子発生技術研究所
- 末永 亮介 九州大学大学院
- 飛田 尚寿 広島大学 大学院 理
- 鈴木 恒佑 名古屋大学
- 田原 周太 九州大学 大学院 理学府 凝縮系科学専攻 複雑系科学講座Ⅲ
- 宮嶋 達也 旭硝子㈱
- 島田 美帆 分子科学研究所 極端紫外光研究施設
- 大河内拓雄 日本原子力研究開発機構
- 山中 剛志 広島大学 理学部 化学科
- 宮崎 司 日東電工㈱ 基幹技術センター
- 丸山 友絵 広島大学 大学院
- 川崎 梨絵 広島大学
- 瀬戸 秀紀 京都大学 大学院 理学研究科
- 羽嶋 優貴 広島大学 工学部 応用化学 B4
- 金田 大輔 広島大学 大学院 理学研究科 物理科学専攻

以上35名

《学生会員入会》

- 田久保 耕 東京大学 大学院 理学研究科 物理学専攻 溝川研究室
- 三井 貴之 兵庫県立大学大学院 高度産業科学技術研究所
- 阿部 仁 東京大学 大学院理学系研究科 化学専攻 長谷川研究室
- 中山 裕二 首都大学東京大学院 理工学研究科 物理学専攻 光物性研究室
- 日高 裕介 兵庫県立大学 高度産業科学技術研究所 ナノマイクロシステム分野
- 池田 正樹 東京大学 新領域創成科学研究科 複雑理工学専攻
- 神原 一暁 東京大学 大学院 新領域創成科学研究科 物質系専攻 雨宮研究室
- 上野 哲朗 広島大学 大学院 理学研究科
- 堀川 裕加 広島大学
- 熊埜御堂太一 名古屋大学 大学院 工学研究科 化学・生物工学専攻 生物機能工学分野
- 藤木伸一郎 首都大学東京 理工 物理
- 福田 直樹 東京理科大学
- 星野 真人 筑波大学 大学院 数理物質科学研究科
- 江口 憲一 北九州市立大学 国際環境工学研究科 環境バイオシステムコース 櫻井研究室
- 稲垣 学 日本大学 電子線利用研究施設
- 野島 健大 東京大学 物性研究所
- 鈴木 孝治 名古屋大学 工学研究科
- 山口 央基 九州大学 工学部 物質科学工学科
- 田中 才工 関西学院大学 理工学部 ハイテクリサーチセンター 高橋功研究室
- 大熊 隼人 首都大学東京
- 岸本 淳生 兵庫県立大学 高度産業科学技術研究所
- 吉村亜里沙 大阪府立大学 理学系研究科
- 安川 尚見 大阪府立大学 理学系研究科

櫻木 美菜 北九州市立大学 大学院 国際環境工学研究科
 片岸 恵子 大阪大学 大学院 工学研究科
 三浦 和也 名古屋大学 工 量子
 水田 吉郎 兵庫県立大学
 出口 将貴 広島大学 理学部
 渡邊 郁美 広島大学 理学研究科
 福原 淳仁 京都工芸繊維大学
 大西 竜慈 兵庫県立大学
 中島 慎治 九州大学 大学院 理学府
 蔵 圭司 東京大学 物性研究所
 松本 吉弘 広島大学 大学院 理学研究科

水野 貴文 総合研究大学院大学
 渡部 秀典 広島大学 理学研究科 数理分子生命理学専攻
 分子生物物理学研究室

以上36名

《退会会員》

正会員 6 名

《会員数》

会員 1372名 (内学生 227名) 賛助会員 50社 (54口)

■ 行事予定

開催月日	名 称	開 催 地	主催又は問い合わせ先	掲載巻・号
2007年 5/7-11	第 6 回非弾性 X 線散乱国際会議 (IXS2007)	淡路夢舞台国際会議場	財団法人高輝度光科学研究センター 独立行政法人日本原子力研究開発機構 独立行政法人理化学研究所 高エネルギー加速器研究機構 E-mail: ix2007@spring8.or.jp	19・5
9/10-13	第 2 回回折構造生物国際シンポジウム2007	タワーホール船堀	日本学術振興会産学協力研究委員会 回折構造生物第169委員会 E-mail: isdsb07@nubio.nagoya-u.ac.jp	19・5
9/25-29	加速器をベースとした赤外顕微鏡と分光の 国際ワークショップ (WIRMS2007)	兵庫県立淡路夢舞台国 際会議場	WIRMS2007事務局 (神戸大学内) E-mail: okamura@kobe-u.ac.jp	19・3
10/29- 11/2	第16回二次イオン質量分析国際会議	石川県金沢市県立石川 音楽堂	SIMS XVI 国際会議組織委員会	19・6
10/29- 11/2	第 6 回新材料・素子の原子レベルキャラク タリゼーションに関する国際シンポジウム	石川県金沢市県立石川 音楽堂	日本学術振興会マイクロビームアナリ シス第141委員会	19・6

本欄では、研究会、シンポジウム、国際会議等のおしらせを募集しております。掲載ご希望の方は事務局までご連絡下さい。一記事の長さは1/2ページ以下を目安とし、様式は事務局で変更させて頂く場合がございます。

● 会誌オンラインご案内 ●

編集委員長 櫻井吉晴

オンライン会誌は <http://www.jsrr.jp/journal/> でご覧いただけます。

今回のユーザー ID とパスワードは

User ID : jsr201

Password : 7kG25lbv

です。このユーザー ID とパスワードは、次号が発行された後に失効します。

まだ試運転段階ですので、皆様から、バグの指摘、コメントなどをいただければ幸いです。ご連絡は櫻井 (sakurai@spring8.or.jp) までお願いします。また、当然のことですが、会員以外の方へのパスワード漏洩は禁止いたします。また、記事の著作権は日本放射光学会にありますので、転載等のご希望に関しては、必ず事務局までご連絡下さい。良識あるご利用で、会員の皆様のお役に立てれば幸いです。